

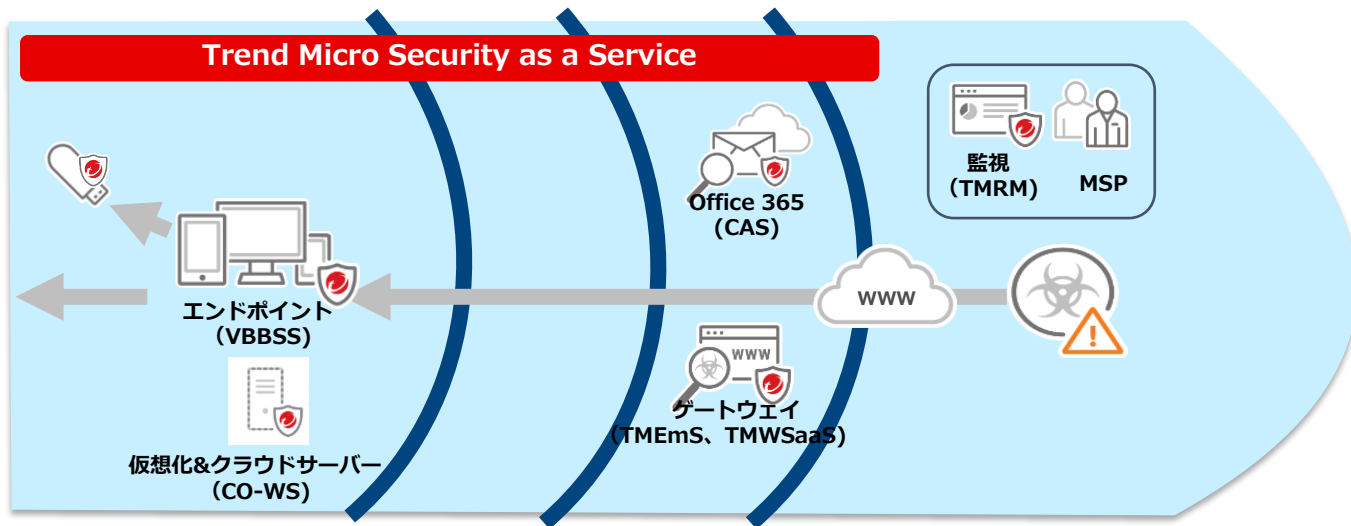
クラウド型総合サーバーセキュリティサービス
Trend Micro Cloud One – Workload Security

SB C&S株式会社

Trend Micro Security as a Service とは

クラウド管理型セキュリティサービス

- 充実したクラウド型の多重防御セキュリティサービス
- 初期費用の低減、簡単な導入、運用負担の軽減を実現します



安い初期費用で中小企業でも大企業レベルのセキュリティを実現！

Trend Micro Security as a Service のラインアップ

エンドポイント

ウイルスバスタービジネスセキュリティ
サービス (VBBSS)



パソコン、モバイル、タブレットをランサムウェア、
ウイルス・スパイウェアから防御

サーバーセキュリティ

Trend Micro Cloud One
- Workload Security (C1WS)



脆弱性、ランサムウェア、ウイルスから
サーバーを多層防御

M365/Gsite/Box/Dropbox

Trend Micro Cloud App Security
(CAS)



AI技術やサンドボックス分析により
ビジネスメール詐欺(BEC)やランサムウェアの
高度な脅威からOffice 365を保護

Webセキュリティ

Trend Micro Web Security as a
Service - Standard (TMWSaaS)



クラウド型サービスでインターネットの脅威を
ブロックしてウェブアクセスを制御

E-mailセキュリティ

Trend Micro Email Security Advanced
(TMEs Adv.)



クラウド型サービスで効率的に
スパムメールを防御

クラウド管理型セキュリティサービスのメリット

- トレンドマイクロ社が構築するクラウド上で管理運用するサービス
- お客さま環境に管理サーバーを用意する必要なし

即応性

クラウド上で自動的にバージョン管理されるため新たな脅威にも迅速に対応

柔軟性

1ライセンスから購入可能。導入後のライセンス増減も柔軟に対応

コスト削減

管理サーバー不要のため初期投資や維持費用などコスト削減を実現

誰でも簡単

専門知識がなくても誰でも簡単にサービス導入・運用可能








どこでも簡単

ウェブサイトですべて管理。サービス利用に必要なものはインターネット環境のみ

Trend Micro Cloud One - Workload Securityとは






オンプレミス製品『Trend Micro Deep Security』のクラウド版サービスとなり、ハイブリッド環境（物理・仮想・クラウド）に対応可能な2種類のライセンスを展開しています。Enterpriseはサーバー総合セキュリティ、Essentialはサーバーのアンチウイルス対策です。ウェブの管理画面を用いてDeep Security Agentをインストールしサーバーを管理運用します。

C1WS Enterprise

-  不正プログラム対策
-  Webレピュテーション
-  ファイアウォール
-  IPS/IDS（仮想パッチ）
-  アプリケーションコントロール
-  変更監視
-  セキュリティログ監視

サーバセキュリティの決定版。サーバ堅牢化。
脆弱性対策と多層防御を同時に実現——

C1WS Essential

-  不正プログラム対策
-  Webレピュテーション
-  ファイアウォール
-  IPS/IDS（仮想パッチ）
-  アプリケーションコントロール
-  変更監視
-  セキュリティログ監視

「脆弱性対策は別途やっている」というサーバに。
サーバセキュリティとして必要最低限の機能を——

C1WS Enterpriseの特長

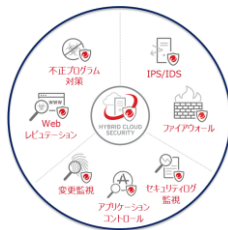
サーバーのセキュリティ対策に必要な複数機能を全て搭載したサーバー総合セキュリティサービスです。さまざまな手法を組み合わせたサーバー攻撃でも段階に応じたセキュリティ機能で脅威をブロックします。

仮想パッチ



IPS/IDSルールを適用することで
正規パッチが完成するまでの間
サーバーの脆弱性を素早く保護

多層防御



複数機能を搭載することで
1サービスで攻撃フェーズに応じた
多層防御を実現します

ハイブリット環境対応



1サービスで異なるサーバー環境
(物理・仮想・クラウド)に対応
統一のセキュリティレベルを適用

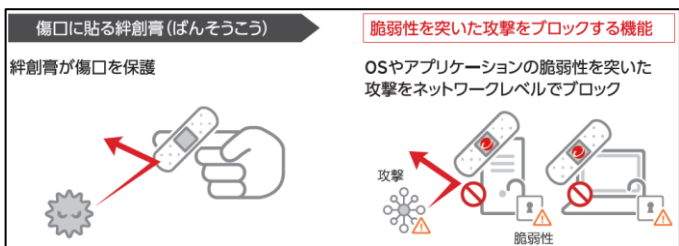
C1WS Enterprise 機能紹介

仮想パッチ

- ❑ 脆弱性を狙う攻撃コードをIPS/IDSルールで防御する機能
- ❑ 正規パッチが公開されるまでの期間、迅速に脆弱性を保護

※C1WS Essential には仮想パッチは搭載されていません

※ほとんどの場合、仮想パッチは正規パッチより早い段階で適用されます

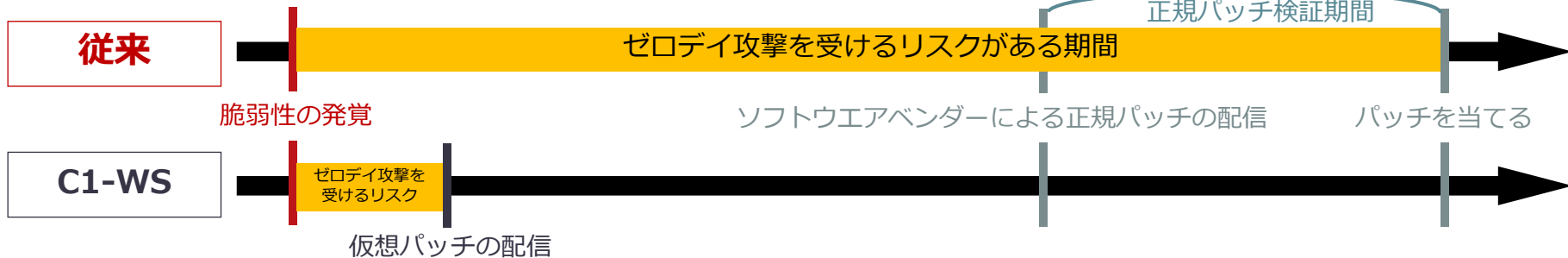


「絆創膏」

- ×傷を治す
- 外部から細菌の侵入を防ぐ

「仮想パッチ」

- ×脆弱性を直す
- 脆弱性に対する攻撃を防ぐ



C1WS Enterprise 機能紹介

仮想パッチ

□ 推奨設定

Deep Security Agentが脆弱性を発見した場合、仮想パッチを自動で適用。
設定作業をする必要がなくなるためセキュリティ担当者の運用負荷を軽減します。
緊急パッチの回数を減らし、正規パッチの検証適用も計画的に実施することが可能となります。



※管理者さま自身で行います

管理運用の負荷軽減とゼロデイ攻撃のリスクを最小限に

C1WS Enterprise 機能紹介

多層防御

- ❑ 従来の予防型の対策（ウイルス検知と駆除、不正アクセスを防止など）では不十分
- ❑ 万が一侵入された場合に備え、攻撃に気付いて防御する発見的な対策を搭載

予防

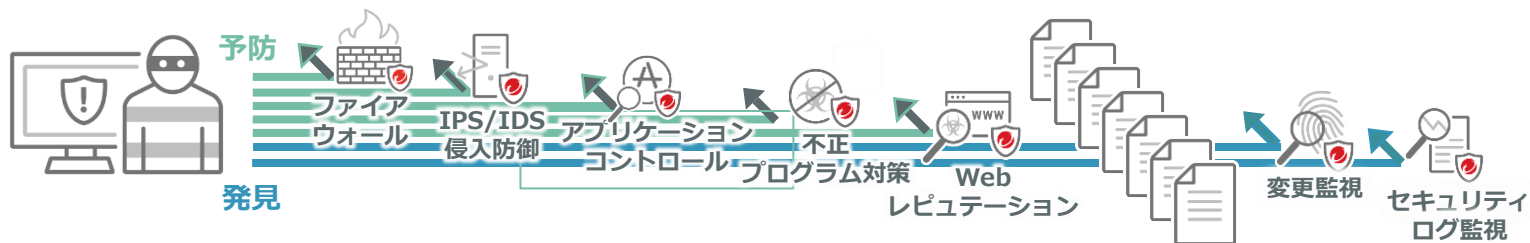
- ・パッチの適用
- ・パスワードポリシーの強化

ゼロデイなど完璧な予防は困難

発見








- ・不正侵入、改ざんの検知
- ・大量の認証試行の検知

攻撃に気づき被害を最小限に抑える



C1WS Enterprise 機能紹介

多層防御

	ファイアウォール	DoS攻撃など不正な通信を防御
	IPS/IDS (侵入防御)	仮想パッチでOSやアプリケーションの脆弱性を保護
	アプリケーションコントロール	ホスト上で実行されるアプリケーションを監視
	不正プログラム対策	リアルタイムにウイルスを検索
	Webレピュテーション	不正なURLへの接続を防止
	変更監視 (改ざん検知)	ファイルやポート等の変更を監視
	セキュリティログ監視	OSやミドルウェアのセキュリティイベントを集中監視

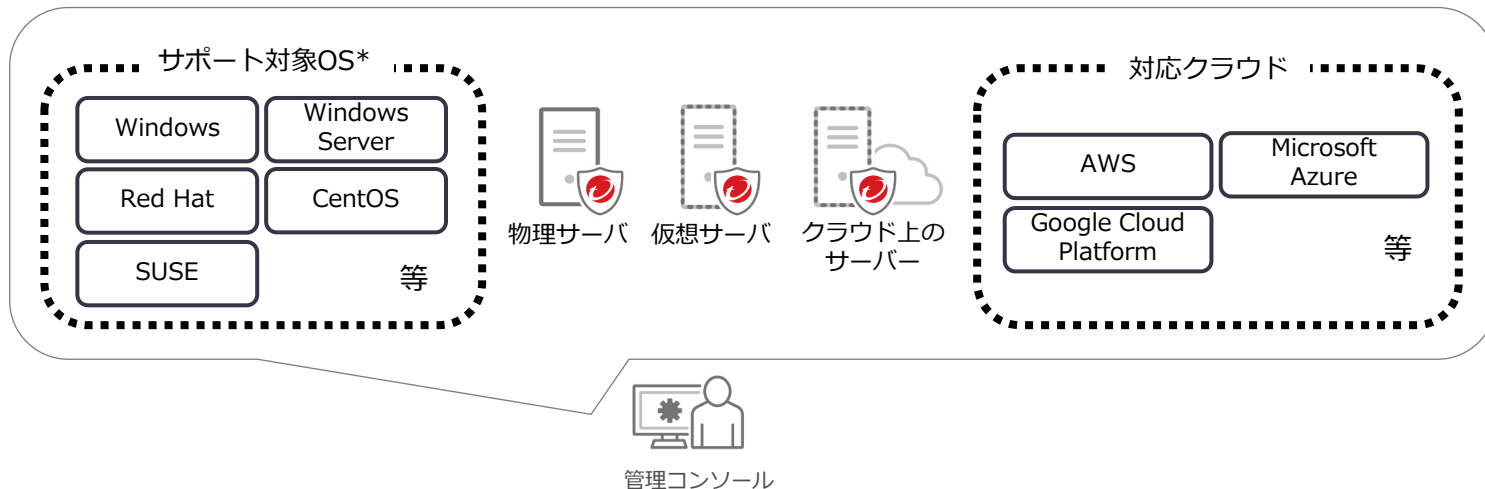
C1WS Essentialの
提供機能

複数機能で攻撃フェーズに応じた多層防御を実現

C1WS Enterprise 機能紹介

ハイブリッドなサーバー環境

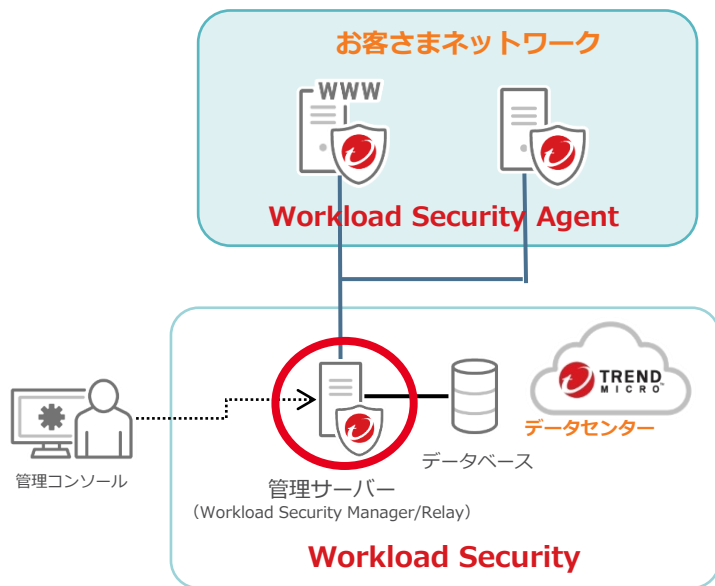
- ハイブリッドな環境、マルチプラットフォーム、マルチクラウドに対応
- 多様なサーバーも管理画面で一括管理



多様なサーバーに対応、ひとつの画面で管理運用

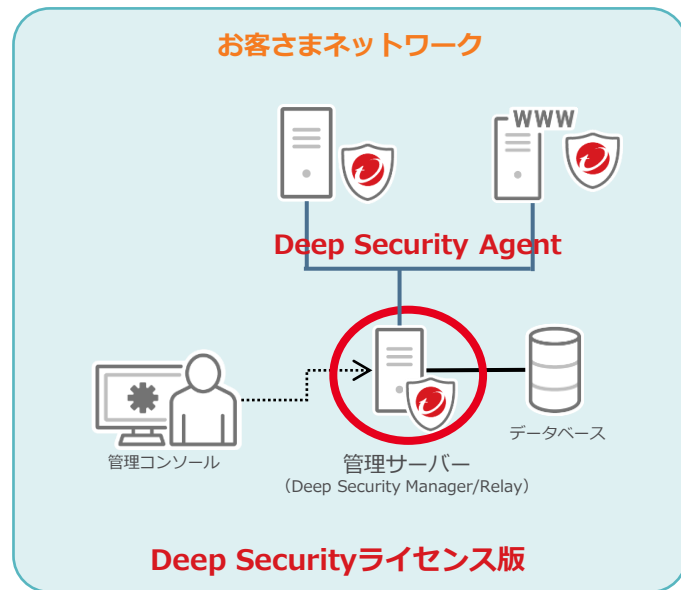
Deep Securityパッケージ版のメリット

Workload Security (管理サーバーはトレンドマイクロが提供)



- ❑ お客様環境に管理サーバーの構築・運用不要
- ❑ 1本から導入可・月額課金のためスモールスタートが可能

Deep Securityパッケージ版 (管理サーバーをお客さま環境に構築)

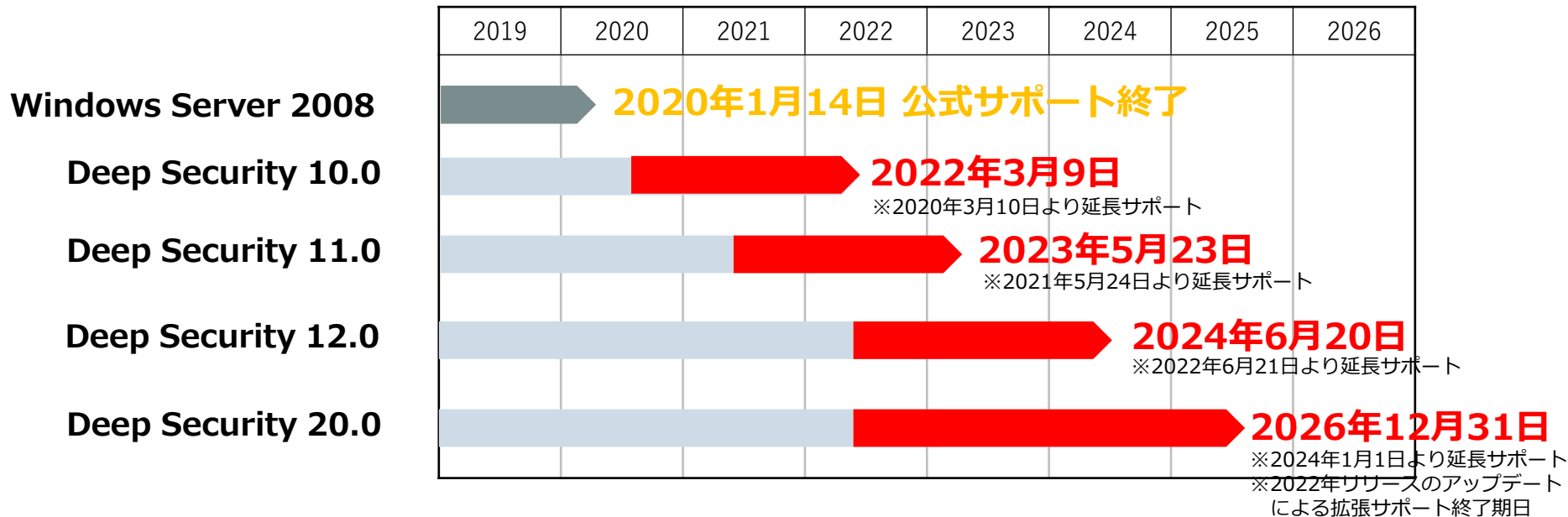


- ❑ お客様環境に管理サーバーを持つためカスタマイズが可能
- ❑ 提供モジュールが二種類あり、仮想化環境でエージェントレス型セキュリティを提供可能

サーバーのセキュリティ対策機能比較表

機能名	C1WS Enterprise	ウイルスバスターCorp	ServerProtect
ウイルス対策	○	○	△ ※ファイル検索のみ
ファイアウォール	○	○	×
IPS/IDS (侵入防御)	○	△ ※クライアント向けルールのみ	×
Webレピュテーション	○	○	×
アプリケーションコントロール	○	-	×
変更監視 (改ざん検知)	○	-	×
セキュリティログ監視	○	-	×
保護対象サーバー サポートOS	Windows Linux Solaris/AIX	Windows	Windows Linux
管理マネージャ	1台で管理可能	1台で管理可能	Win/Lin環境により別々
仮想化対応	ホスト型+仮想アプライアンス型	ホスト型のみ	ホスト型のみ

C1WS EnterpriseのWindows Server 2008 サポート



Deep Security 20.0はWindows Server 2008に対し脆弱性対策が可能
2026年12月31日まで仮想パッチでサポート対応予定です

ご購入方法

SB C&Sでは2パターンの販売モデルをご用意しています。
ビジネスに応じた販売モデルをご選択いただけます。

SP販売モデル

サービスプロバイダー契約を結びパートナーさまにライセンスの管理やユーザーサポートをお任せする販売モデルです。販売ツールの提供や技術支援など特別支援プログラムもご用意しております。

- ①サービスプロバイダー契約書の締結
- ②ユーザーサポートの提供
- ③サービス利用許諾の作成
- ④ウェブサイト管理画面(LMP)の操作
- ⑤ライセンスや顧客情報の管理運用
- ⑥毎月の利用レポート提出

再販モデル

弊社にてサービスとユーザーサポートを提供する販売モデルです。初回購入時に書類をご提示いただく必要がございます。導入支援を行うSOC再販サービスもご用意しています。

- ①同意書の締結
- ②申請書Webのご提出
- ③サービス利用許諾のユーザー同意



お見積もりやお問い合わせはSB C&S担当営業までご連絡ください

 SB C&S

SB C&S株式会社
〒105-0021 東京都港区東新橋丁目9番2号汐留住友ビル
ネットワーク&セキュリティ販売推進室